

女性とともに 今に息づく

によにん

女人

こうや

高野

く時を超え、

時に合わせて

見守り続ける

癒しの聖地く



ストーリー概要

高野山は、近代まで「女人結界」が定められ、境内での女性たちの参拝は叶わなかった。そんな時代にあっても女性たちの、身内の冥福を祈る声、明日の安らぎを願う声を聴いていた、「女人高野」と呼ばれるお寺があった。

優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聴いている柔らかな顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を『名所図会』は見事に実写し、表現した。そこに描かれた「女人高野」は時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づき、訪れる女性たちを癒し続けている。

女人高野



明治時代後半、高野山の女人結界が解かれるまで、空海と縁を結び、祈りを届けたいという女性たちの願いを聴いていた「女人高野」と呼ばれる四つのお寺（室生寺・天野山金剛寺・慈尊院・女人堂）がありました。

1. 女人高野

「高野山には、女は入れへんがのう、この慈尊院までは上がれるんやしてよし。そやよつてに、こは女人高野と云うんやして。花は知つてたわの。」これは有吉佐和子の名著『紀ノ川』の冒頭部分である。

空海が弘仁七年（八一六）に嵯峨天皇から高野山を下賜され、高野山は開創当初から「女人結界」が定められたと伝えられている。これは修行者の墮落を防ぐための不邪淫戒という戒めによつて、修行者を律するものであった。後の思想である、女性と穢れを結びつけ、聖域への立ち入りを禁じた「女人禁制」とは異なっていた。

この女人結界が解かれるのは、近代化を進める明治五年（一八七二）の太政官布告第九八号「神社仏閣女人結界ノ場所ヲ廢シ登山參詣隨意トス」によつてであるが、高野山は更に遅れて明治後半になってからである。開創から千有余年の間、「高野山には、女は入れへんがのう」という時代が続いたが、そんな時代にあつても空海と縁を結び、祈り

3. 見守り続ける癒やし聖地

身内の冥福を祈り、明日の安らぎを願う声を聴き届けていた女人高野は、今も安産、授乳、育児や乳がん平癒などを願つて多くの女性たちが参詣している。

お寺では乳がん撲滅を願い、ピンクリボンデーに読経とともに多宝塔をピंकに染め上げ、文化財を活かした啓発活動をしている。また、世界文化遺産にもなった、高野山の麓から奥之院に続く町石道、女人堂と女人堂を繋ぐ女人道は、自然に恵まれた緑豊かな道であり、近年では多くの訪日外国人旅行者が文化財とともに、自然の癒しを愉み、時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づいている。

優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聴いている柔和なお顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を見事に実写した『名所図会』の女人高野は、今も姿、形が変わることなく境内林に囲まれて佇み、また、住民とともに祭礼を行うなど地域に根ざし、多くの女性たちの願いを聴いている。これからも訪れる女性たちを心安らかに見守り、癒し続けて止むことはない。

を届けたいと言う女性たちの願いを聴いていた、「女人高野」と呼ばれる四つのお寺があつた。

一山室生寺は徳川五代將軍綱吉の母、桂昌院の寄進によつて堂塔を修理したことから女人高野と称するようになった。

天野山金剛寺は後白河院の妹、八条女院の祈願所となつたこと、そして八条女院に仕えていた二人の姉妹が出家し寺主になつたことから女人高野と呼ばれた。万年山慈尊院は空海の母、玉依御前が滞在し、本尊としていた弥勒菩薩に化身したという信仰から女人高野と呼ばれ、また、高野山金剛峯寺女人堂は慈尊院からの町石道を登りきつた女人結界に建てられたお堂である。

2. 『名所図会』と女性の旅



『紀伊国名所図会』

奈良

一山室生寺

べんいちさんむろうじ



奈良時代末、東宮（のちの桓武天皇）の病氣平癒を願つた興福寺の僧賢憬（賢璟）が創建しました。その後、一時衰退しましたが、江戸時代の元禄年間に五代將軍徳川綱吉の生母、桂昌院の庇護を受けて再興されました。

この頃から、同じ真言宗で女人禁制だった高野山金剛峯寺に対し、室生寺は女性の参詣を受け入れたため、「女人高野」と呼ばれ、女性の信仰を集めました。また、屋外に立つ古塔として日本最小の五重塔（国宝・高さ一六m）は、「女人高野」にふさわしい珠玉の美しさです。

大阪

天野山金剛寺

あまのさんこんごうじ



寺伝によると、奈良時代に行基によつて創建され、平安時代には空海が修行したと伝えられています。平安時代末頃には荒廃しますが、高野山で修行した僧阿観が朝廷、武家の力を借りながら伽藍を整え、寺領を増やしていききました。この阿観に後白河天皇の妹、八条女院は深く帰依し、金剛寺は八条女院の祈願所になりました。この八条女院に仕えていた浄覚、覚阿姉妹が阿観の後を継ぎ、第二代、三代の院主となつたことが「女人高野」と呼ばれる一因と考えられます。

この「女人高野」と呼ばれた寺院は江戸時代、諸国の社寺、景勝地など実景描写の挿絵を入れ、解説した『名所図会』に描かれていた。『名所図会』は徳川幕府体制の安定、経済活動の進展にもなつて、庶民も高野詣で、お伊勢参り、西国巡礼などお参りを兼ねて旅に出るという、近世において庶民の生活にも潤いが出てきた中で刊行された江戸時代の旅行ガイドブックである。

この頃の旅は、道や交通用具の発達した今日と違い、数か月に及ぶこともあつた。特に女性にとっては関所における女改めは厳しく、また高野山への参詣も辛い山登りであつた。高野山への参詣道として七つの道があり、それぞれの道を登りきつた女人結界には女性のための籠り堂として女人堂が建てられた。山内に入れない女性たちはここで手を合わせて祈り、夜を明かした。この七つのお堂は一つの道で繋がつており、女人道と呼ばれた。女人道は、女人堂から女人堂へと金剛峯寺を中心に蓮の花びらにたとえられた八葉蓮華の峰々の尾根伝いの道である。女人道という名からは想像を覆す険しい道である。女性たちはお堂だけではなく、この険しい道を歩きながら

和歌山

万年山慈尊院

まんねんさんじそんいん



弘仁七年（八一六）空海が、高野山開創に際し高野山参詣の要所にあたるこの地に表玄閣として伽藍を草創し、一の庶務を司る政所、高野山への宿所、冬の避寒修行の場とされました。空海の御母公が善通寺より訪ねてこられたのですが、当時の高野山は、女人禁制でしたのでこの慈尊院で暮されました。御母公の没後、伽藍を建て弥勒菩薩を安置したので、以後女人禁制の高野山に対し、女人高野とも呼ばれるようになり、子授け、安産、授乳などを願う多くの女性たちが参拝されます。

和歌山

高野山女人堂

こうやさんによねんどう



女人堂として唯一現存する不動坂口女人堂は、高野参詣道京大坂道終点の不動坂に位置します。平屋建てで女人禁制が解除されるまでは、女性の参籠所・参拝所として利用されました。高野山は空海によつて開かれた真言密教の根本道場であり、修行に専念できるよう「女人禁制」となつたと考えられます。

お大師さま（空海）に導かれた女性や高野山への思いを募らせる女性が、このお堂までやつて来て参拝するとともに、周辺の峰々を巡る厳しい「女人道」を辿りました。



女人道



女人高野を訪ねる



奈良

宇陀市観光案内所うだ観処



- 🕒 午前9時～午後5時
- 🛑 年末年始
- 🏠 宇陀市榛原萩原 2427
- ☎ 0745-88-9049

大阪

河内長野市観光案内所



- 🕒 午前9時～午後4時
- 🛑 年末年始・第2水曜日
第2水曜日が祝日の場合は、その翌日
- 🏠 河内長野市長野町 5-1-114
- ☎ 0721-55-0100

和歌山

高野地域世界遺産情報センター



- 🕒 午前9時～午後6時30分
- 🛑 1月1日～1月3日
- 🏠 九度山町入郷 5-5
道の駅「柿の郷くどやま」内
- ☎ 0736-54-9966

和歌山

高野山観光情報センター



- 🕒 午前9時～午後5時
- 🛑 年末年始
- 🏠 高野町高野山 357
- ☎ 0736-56-2780



女人高野エリアマップ&アクセス



六一山 室生寺

- 🏠 宇陀市室生78 ☎ 0745-93-2003
- 🚶 近鉄大阪線「室生口大野」駅下車、奈良交通バス「室生寺前」停留所下車徒歩5分

天野山 金剛寺

- 🏠 河内長野市天野町996 ☎ 0721-52-2046
- 🚶 南海高野線・近鉄長野線「河内長野」駅下車、南海バス「天野山」停留所下車、徒歩すぐ

万年山 慈尊院

- 🏠 九度山町慈尊院832 ☎ 0736-54-2214
- 🚶 南海高野線「九度山」駅下車、徒歩20分

高野山女人堂

- 🏠 高野町高野山709 ☎ 0736-56-3508
- 🚶 南海高野線「高野山」駅下車、南海りんかんバス「女人堂」停留所下車、徒歩すぐ

日本遺産とは

日本遺産とは、文化庁が認定する地域の歴史的魅力や特色を通じ、文化・伝統を語るストーリーのことで、そのストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取り組みを通じて地域活性化を図ります。

